

みんなで作ろう！図書館、文化ホール、郡中地区公民館 建設市民ワークショップ通信

発行：伊予市役所総務部庁舎建設課 Tel：089-982-1111 内線581・582

10月19日（日）の午後、郡中地区公民館にて、第5回「みんなで作ろう！図書館、文化ホール、郡中地区公民館建設市民ワークショップ*1」を開催しました。

まず最初に、みんなで図書館の現状を確認しに行きました。図書館を見学した後、事前をお願いしていた各自の「おすすめの一冊」をグループで紹介しあいました(p2~)。その後、(株)山下設計から、前回提案されたC案を基にして更に検討を加えた、C2案の諸室について説明しました(p3~)。次にホール建設、運営の専門家から、施設の運営体制の基本的な考え方について、他事例を交えながら提案しました(p5)。説明を聞いた後、グループで意見交換をし、間取りの修正点をポストイットに書き出させていただきました。出されたポストイットを大きな図面に貼り、一枚ずつ確認しながら、修正の方針について設計者と確認をしていきました(p7~)。最後に、各自「使い方提案アンケート」にお答えいただき(p11~)、第5回のワークショップを終了しました。

本当に多くの市民にとって使いやすい施設とはどうあるべきなのか、白熱した議論が展開されています。いよいよ設計の山場を迎えていますので将来の伊予市のために、是非ご参加下さい。

<プログラム>

- 1：はじめに
- 2：図書館へ出かけよう！『おすすめの一冊探し』
- 3：図書館、公民館部分を中心に施設の間取りを説明してもらいます
- 4：施設の運営体制の基本的な考え方について提案します
- 5：各グループで間取りの修正点を検討して下さい
- 6：修正点を全体で確認していきます
- 7：まとめ

全体スケジュール

第1回 2014.6.22(日)

・まちと施設の素敵な関係を考えよう！

基本設計

第2回 2014.7.13(日)

・文化活動の現状を知り、3つの施設空間の検討課題を考えよう！

第3回 2014.8.31(日)

・3つの施設空間の提案を確認し、「文化ホール」についてじっくり考えよう！！

第4回 2014.9.21(日)

・文化ホールの運営のあり方について考えよう！

第5回 2014.10.19(日)

・図書館と公民館について考えよう！
～複合施設のあるべき姿を考える～

第6回 2014.11.9(日)

・図書館と公民館について考えよう！
パートII

第7回 2014.11.30(日)

・基本設計を現地で原寸確認しよう！
※8月10日中止による振替

実施設計

第8回 2015.2月開催予定

・市民が利用しやすい運営方法を考えよう！

第9回 2015.3月開催予定

・市民協働の運営組織を考えよう！

第10回 2015.5月開催予定

・手作りオープニング・イベントを考えよう！

解体

2015.8月

郡中地区公民館解体

工事

2016.1月

工事着工

2018年4月オープン予定

*1 ワークショップ…さまざまな立場の人々が集まって、自由に意見を出し合い、互いの考えを尊重しながら、意見や提案をまとめ上げていく場

図書館へ出かけよう！『おすすめの一冊探し』

図書館に行って現状を確認しました。おすすめの一冊を持ってこなかった人は、図書館の開架図書から興味のある一冊を借り、グループの中でそれぞれ紹介しました。



小学生部門

○秘密のスイーツ（小学5年生、女）

- ・昭和19年の雪子と平成22年の理沙がけいたい
で話しているのがすごいと思ったから。

○コミック版日本の歴史（小学6年生、男）

- ・学校でこの本のシリーズをよんでいて、まん
がみたいでおもしろいと思ったから。

○はんぴりり①ようかいだらけの夏休み

（小学5年生、女）

- ・すずという半人前の神様が、ようかいのお
客を、たけしという男の子のおばあさんの
家によびよせて、いろんな楽器の問題を直
していくのでいいと思いました。

○カゲロウデイズ～in a daze～

（小学6年生、男）

- ・一さつごとに話の主人公が変わり、一つのこ
とへの見方がちがうことが分かる。話がだん
だんつながっていくところが楽しいから。



大人部門

○ゼツメツ少年（30代、男）

- ・実はまだ読んでいないのですが、重松清の少
年物でハズレはないのでまちがいないと思
います。

○許す力（50代、女）

- ・自分が行き詰まったときに出会った一冊。
”許せないものはひとまずポケットへ”とい
う考え方に救われた。

○あいしているから（40代、女）

- ・何かを、またはだれかを本当に愛するとい
うことは、あいてにとっていちばん必要なこ
とをしてあげること。

○水を守りに森へ（50代、男）

- ・日本は水の豊かな国だと思われていますか？
著者は「それは幻想にすぎない」と言い切
ります。水資源を養うはずの森が、驚くほど深
刻だと語ります。

○くじけないで（40代、男）

- ・震災をうけた93才の柴田トヨさんが本人の言
葉で、家族の思いをつれづれなるままに話言
葉で書いている。

○「心の基地」はおかあさん（60代、女）

- ・核家族化が進み、相談したくても出来ない、
共稼ぎ、スマホ…etcで子どもさんとの時間
の少ないお母さん達に読んで欲しい1冊で
す。

○はなぼん（50代、女）

- ・脳はプロセス、生き方もプロセス、大事な
のはプロセス。小さな結果を積み重ねて、み
んなのプロセスでつないで、わくわくする図
書館ができるといいと思う。

○他人をほめる人、けなす人（60代、男）

- ・自分が人間関係でわからなくなった時に読む
本です。役が直訳調で文章としてみれば最悪
な本ですが、その読みにくさが不思議と心
をおちつかせてくれます。

○はなぼん（60代、男）

- ・人口1万1,000人の小布施町にできた図書
館「まちとしょテラソ」は2011年にライ
ブラリ・オブ・イヤー賞をとりました。
民間公募館長として「交流と創造を楽し
む文化の拠点」をつくり上げました。子
どもも大人もワクワクする図書館づくり、
「まちじゅう図書館」も参考になります。

○孫子の兵法（図書館にはなかった）（60代、男）

- ・今、テレビでしていて、非常に興味を引かれ
たから。

○「器が小さい人」にならないための50の行動 （50代、女）

- ・器が大きくなりたいので。

○季語を味わう（60代、男）

- ・最近、俳句に興味を持ち、写真と併せた写真
俳句をやっています。その為、季語の解説本
をよく読んでいます。

○日本書紀（60代、男）

- ・古代、伊予の地名や月ツクヨミノミコト 続命、伊予の皇子な
ど、縁がある記事が登載されている。

○**個人事業の始め方** (60代、男)

- ・自分の為

○**い〜よぐるっと88**

(癒やしの心、ふるさと発見) (60代、男)

- ・癒やしの心、ふるさと発見。旅をする時この冊子は手はなせません。

○**殉職総理** (60代、男)

- ・時はめぐる、政治の世界観、昔に聞く。

○**「新しい広場をつくるー市民芸術概論綱要ー」**
(60代、男)

- ・まちづくり、地域づくり、国づくりの柱としての文化芸術の意義について語っている。文化ホール、図書館を市民が活かすためのヒントが満載

○**南風** (70代、男)

- ・自費出版のモデル。図書館の蔵書として充実自費出版をして下さい。

○**日本の総理大臣** (70代、男)

- ・総理大臣になるにはどうしたらよいか分かる。歴代の総理の主な業績がわかる。近代の歴史の流れがわかる。

○**マンガ** (70代、男)

- ・小さい頃から本好きにさせるため、自分で選ばせることが大事

○**直感力** (70代、男)

- ・暮も直感、人生も直感力で流れが変わる。

○**満蒙** (70代、男)

- ・日本の近現代史を考えるのに一読したい本

○**ひとりで死ぬのだって大丈夫** (70代、男)

- ・どのように死んでいきたいか、自分らしい死に方を考えることを通して、自分らしく今を生きる姿勢をつくるのが誰にとっても必要かつ大切なことだと教えられる。そのことが他者のいのちや生き方にかかわる姿勢につながっていると気づく。

○**容疑者Xの献身** (70代、男)

- ・無償の愛とトリックの微妙(?)さ、さらに友情の深さを描いている。

○**竜馬がゆく** (70代、男)

- ・司馬遼太郎さんが好きで、良く読んだ。近代日本のいしづえを築いた竜馬に共感するところがあるため。

○**Oh脳** (関連3冊目が出ている) (80代、男)

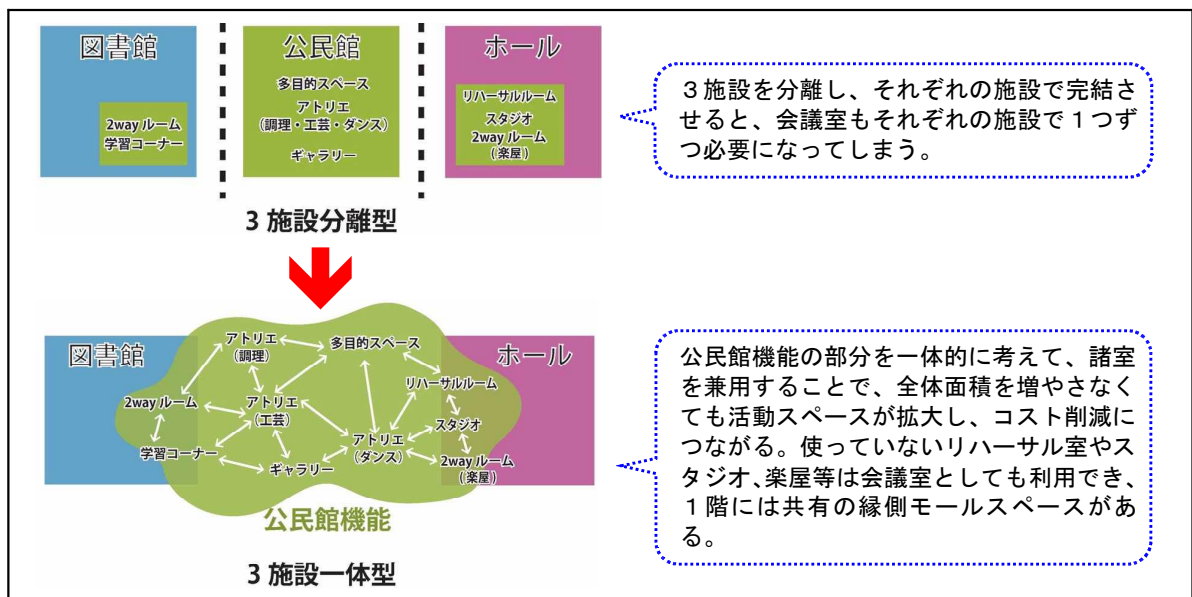
- ・認知症を理解する上で大変よい。

図書館、公民館部分を中心に施設の間取りを説明してもらいます

設計者から、前回提案されたC案を基にして、更に細かな検討を加えたC2案について説明しました。



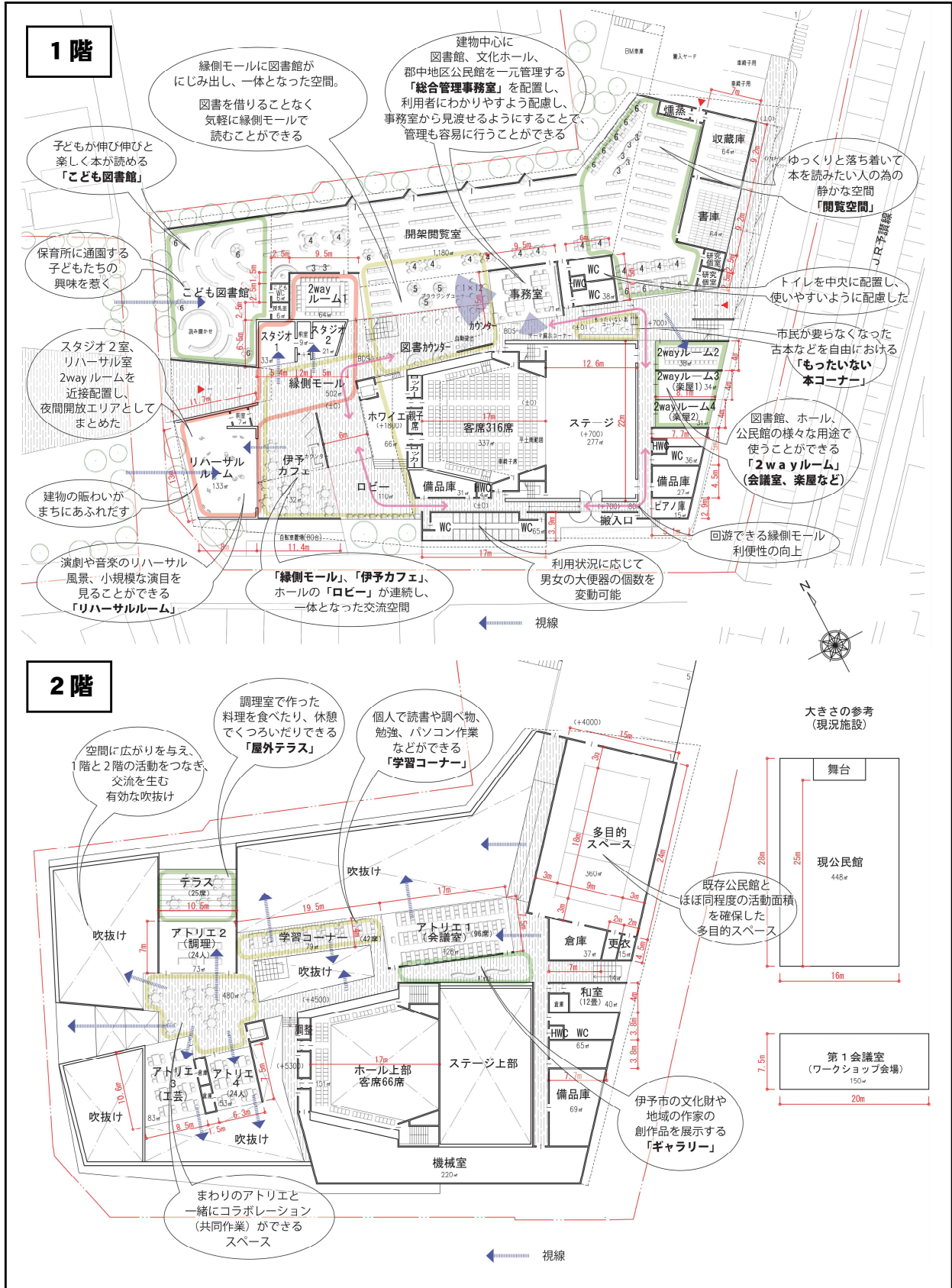
図書館の開架スペースやホール機能が、郡中公民館の機能によって一体化されるイメージ



大きな屋根の下でいろんな人達がいろんな活動をしている、そういう広場のようなスペースができるといいということで、建物全体を一体的に覆いたいと思っています。保育園側は2.5mくらいまで軒先を低くして、建物としては大きいけれども、パッと見た時は住宅のスケールと変わらないようにしています。分かりやすく造り、「どうぞ皆さん来て下さい」という感じが出ると良いと思います。



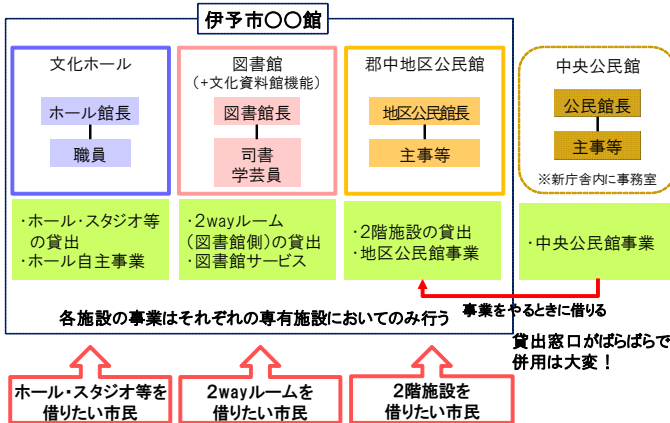
設計の安田さん



施設の運営体制の基本的な考え方について提案します

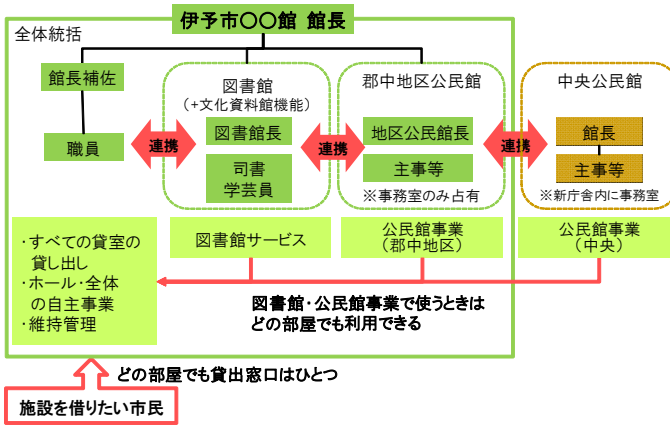
施設全体の運営体制について、シアターワークショップの伊東さんから、最近の事例も踏まえて基本的な考え方を提案してもらいました。

<それぞれが別々の組織で運営>



- ・1つの施設の中に館長が3人
- ・大きな催しものをする際、貸し出し機能が別々になっていると、ホールは予約できたが多目的ルームは予約できずに実施ができないこともあり得る。
- ・1つの施設でありながらバラバラに運営することで、運営上、問題が出て来ることが予想される。
- ・複合施設として設置する意義は…?

<一体的な運営>



- ・1つの建物に3つの機能のゾーン
- ・3人の館長の上に全体を統括する代表の館長が立つ。
- ・ホールや図書館の貸し出し窓口は一括した方が効率的である。その中で申込の受付時期、優先順位等はルールを、今後話し合いで決めていく。
- ・清掃や警備も一元化して管理

文化交流館カダーレの紹介 (秋田県由利本荘市)

●施設の概要

- ・ホール、図書館、公民館、教育施設の複合施設
- ・ホールは約1,100席、1階席の客席全部が可動椅子で全体がフラットになる。客席の後も舞台の後も開き、並んでいる部屋全部の壁が開くので通りから通りまでが通り抜けられるようになっている。あまり使用されていないが、すごく面白いことが出来そうな期待感がある。
- ・ホールの利用者数は年間30万人で、ホールとしてはあり得ない数字となっている。
- ・1階の入口には地場産品、農産物などが並び、隣のレストランと共に利用頻度は高い。
- ・全体の館長がいて、貸し館はそこが全部仕切っている。
- ・1つの施設として運営出来るよう、行政の中のルールも、施設に合わせて書き換えている。

●運営

- ・新施設建設に伴い登録のルール化、曜日、時間、固定押さえの廃止、公民館等使用料の有料化した。有料とは言っても受益者負担としての意識付け程度で、それほど高くはない。
- ・施設を使う優先順位を決めている。
 - ①市の事業
 - ②ホールとの併用事業
 - ③登録市民活動団体
 - ④一般利用



劇場コンサルタント
シアターワークショップ
伊東 正示さん

世の中の流れとしては、施設を有料化していく方向にあります。また事業に対する補助金を別途見ていくことも増えています。これは他の事例ですから、これを参考にして伊予のルールを施設の計画と合わせてお考えいただければ良いと思います。



説明を聞いた後、質疑応答がありました

参加者-1：伊予市は平成17年4月1日に合併した。その合併協定書では、「生涯学習事業については当面現行通り実施し、新市において策定する社会教育方針に基づき随時調整する。」「公民館体制については、現在行われている公民館活動に支障のないように、合併後も現体制を維持する。」「指定文化財については原則として、新市において指定する。また新市における文化財等の保管、展示出来る施設を建設する。」とある。市庁舎にもこの複合施設にも、この文化財を展示出来る施設はない。また現行通りであれば、公民館は料金が免除されることになる。計画のリハーサル室やスタジオ、楽屋は、公民館活動には必要ないと思うので、それは有料にせざるを得ない。多目的スペース、会議室などの公民館機能については免除であり、それらを複合化することは、基本的におかしい。郡中地区公民館がどこに行ったか分からない。多目的スペースもアトリエ1の会議室も面積が減っており、公民館をないがしろにした設計のように思う。公民館機能は機能としてきちんと置いていただきたい。

教育委員会事務局：文化財に関する多くの施設は、高度経済成長など景気の良い時代に建てたもので、現状はつぶれていく箇所がたくさんある。それは厳しい財政の中、予算も人員もなく、施設の展示物やサービスが固定化し、新しい魅力を発信できず、先ずばみの状態である。伊予市には今、4万点近い古文書や埋蔵文化財があるが、今は空調の効かない部屋に収蔵され劣化している。そのため、今回の計画では空調、温湿管理ができる収蔵庫とし、資料を未来につなげられるものを優先して考えている。展示については、企画展やテーマ展を行えるスペースを確保したいと考えている。常設展示室に展示をする場合、まずは1年以上前からテーマを考え、半年前までに調査研究を重ね、展示の準備を始めて、1か月前から並べ始めるという非常に長いスパンで仕事をするようになる。伊予市の現状を考えると、常設展示も企画展示もする部屋は望めないと考えており、この計画案は伊予市の教育委員会で考える優先順位を満たしていると考えている。

庁舎建設課：多目的スペースは、200人程度が入れるように考えており、大きさについては今後、設計業者との協議になっていくと思う。公民館が縮小されているというご指摘があったが、3つの機能を明確に分けるのではなく、図書館や文化ホールの専門性の高い機能空間と、会議室やリハーサルなどの多機能に使えるようなものを織り交ぜて、有効に有意義に無駄なく使い、必要以上に施設を大きくしないことが考えられている。また施設を一元化して管理

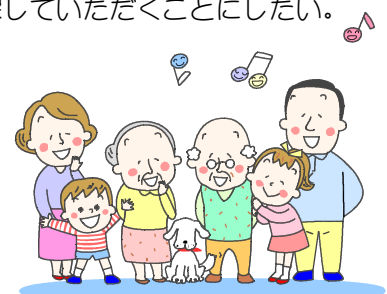
することにより、人員配置やコストの縮減にもつながっていくと考えている。

参加者-1：今、言ったことは基本計画には書いていない。変更するのであれば、基本計画も変更せざるを得ない。変更していない以上は、合併協定書に基づいて実施していただきたい。多目的スペースはバレーボール等を行うので、やはり元の面積は確保してもらいたい。複合施設でも、文化ホールの機能のものについては全部有料、公民館は無料。今現在、市外と市内の料金設定、営利目的の事業などの規定はあるがあまりうまくいっていない。やはりきちんと料金体系も含めて施設のあり方を検討するべきだと思う。今の計画のように、公民館を縮小して倉庫だけというようなことについては納得がいかない。

参加者-2：先程から公民館が公民館がと言うが、複合施設にする以上は仕方がないと思う。双海、中山、南伊予の公民館には多目的ホールなどの施設はないが、中央公民館があるから我々は納得している。この計画は素晴らしいと思う。複合施設としていろんな施設も一緒に使えるんだったら最高じゃないか。郡中の方でも「自分らも辛抱しないといけなことがあるんや」と言う方もいる。市にはお金もない、その中で何とかコンパクトに、みんなで頑張ろうとやりよるときに、一部のところのためだけに話をするのはやめましょう。

参加者-3：郡中の者として言いたい。この施設は南伊予にできるはずだった。南伊予の人を始め、中山町、双海町の人にもずいぶん泣いていただいた。その上での合併なので、郡中が何もかも取るという発想はやめないと本当に調和が保てない。郡中にはふるさと創生館も彩浜館も、さざなみ館もある、この施設の有効活用も含めて、郡中の者が市民活動を展開していけば良いのであって、見方によっては全部が公民館じゃないか。そういう意味で、これ以上のことは言わないようにすべきではないか。この会館が伊予市民にとって貴重な財産になるように、地域づくりの核になるような応援をこれから考えていくべきではないか。

伊藤（大久手計画工房）：いろいろなご意見があることを承った上で、皆さんが納得できる線を管理運営検討委員会で探していただくことにしたい。



各グループで検討した間取りの修正点を、全体場で確認しました

図書館と公民館部分の間取りに対する質問や改善点をグループで話し合っってポストイットに書き出し、それを全体場で修正の方針について設計者と確認しました。

前面広場の工夫

- 北側の境界線に高さ10mぐらいの壁を立ててはどうか？音の反射、舞台の雰囲気（背景制御）、仮設テント屋根設営用（垂れ幕掛けなどに有用）。コンサートやコンテストに有用。各種設備の埋込配管もできる。
- 前面広場⇄カフェとのつながり（視線、動線）だけでなく、前面広場⇄閲覧室（子ども＋大人）との視線のつながりも必要。広場の利用をみんなで考えて決める。
- エントランスの市道を廃止し、保育所の送迎動線と分ける？

安田：前面広場の有効活用は大事だが、まだ検討が全く追いついていない。駐車場にしたいという話もあるが、市の中心の複合施設の正面入口がアスファルトで舗装されているだけというのも違うと思っている。今後、十分考えていきたい。前面道路の話は、廃止をするのは難しいと思う。

伊藤（大久手計画工房）：保育所の送迎動線との問題は考慮する。第7回のワークショップの原寸確認で、前面広場の話もやりたいと思う。



前面広場の使い方を今後検討する

入り口付近

- ・入り口付近に案内所を。
- ・出入り口の近くに、子ども達の目にとまる形で、伊予市の資料を分かりやすく展示すること。映像を使って提示する方法を（伊予市のアイデンティティを継承する、新しい文化創造に欠かせないコーナーです。）。
- ・子ども図書館と一般閲覧室をもう少しオープンな感じで繋げる（今は距離感があります。）。
- ・閲覧室に残るトイレは丸くして、一般閲覧室と子供室の繋がりをスムーズにする。
- ・入口をもっとオープンにして、前面広場から図書館内部まで透けて見える工夫をする。利用者を迎え入れて、奥までいざなうカタチ
- ・事務室は可能な限りにオープン（あるいはガラス張り）にして、市民やボランティアが自由に入出入りできる空間とし、管理運営次第で閉じたり開いたりすればよいと思う。また市民の協力員やボランティアスタッフなどの控え室とミーティングスペース（オープン）が必要
- ・事務室のスペースはここではなく、前案の通り「2wayルーム」にする。
- ・スタジオを南側に移動させ、リハーサル室＋カフェなどとひとかたまりのゾーンにする。ラップ状に入口は5mほど北に移動させる。
- ・事務室を北東の隅に移動させる。整理室、燻蒸室、書庫に隣接させる。

- ・スタジオ1、2、事務室が入り口付近を占有していますが、スタジオをリハーサルルーム側に、事務室を図書館の東側にもっていくことで、まちを開く形をとれないか。

伊予カフェ

- ・カフェは赤字。いらない。
- ・伊予カフェはもう少し開放感がほしい。
- ・カフェとリハーサルルームは入れ替えた方が（もともにもとした方が）いいと思う。見晴らし、自転車置き場になっているから。
- ・伊予カフェには厨房はいりませんか？

リハーサルルーム

- ・リハーサルルームをカラオケルームに変更して。
- ・リハーサルルームは前案の方が良い。スタジオを元リハーサルルーム側にする。

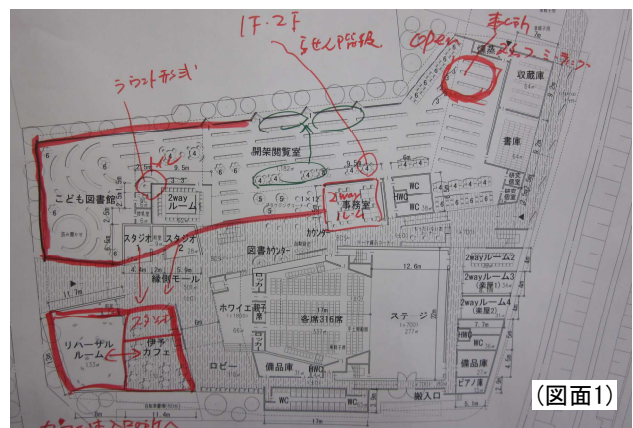
参加者-1：入り口付近に大きい塊を作らない方がよい。トイレはラウンド※2式のトイレにし、授乳室も工夫する。事務所は右奥にもっていき、単に職員のためではなく、活動する人のためのスタッフルームも併せて作ればよい。（図面参照）

参加者-2：事務所は最高の位置だと思う。警備上、カウンターの人が誰かに絡まれたとき、近い位置に人がいなければ間に合わない。今はそういうことを前提にしておかないといけない世の中の状況である。

安田：運営をしていくと、図書館のカウンターと事務室の連携が必要になると思う。事務室を移動するなら、カウンターは図書館以外の、例えば貸し館の手続きカウンターを兼務することも考える必要が出てくる。図書館は、子どもが大声を出しても響き渡らないようにくびれたものを設けているが、ご指摘のこともあるので、いろいろなパターンを検討したいと思う。伊予カフェの運営についてはこれからしっかり考えていかないといけない。今回、カフェとリハーサルルームを入れ替えたことで、カフェとロビー、ホワイエ※3を含めて広々と使えるオープンスペースが1つ増えている。



入り口周りは非常に重要なところなので、更にプランを検討する。




※2 ラウンド…丸いこと。また、ひとまわり
※3 ホワイエ…劇場、ホテルなどの休憩所。ロビー

子ども図書館


- ・子どもコーナーだけカーペットで土足禁止にしては？
- ・読み聞かせのときには壁にクッションがあるといいと思う。
- ・子どもが遊べる所（小学校前の子ども）

安田：材料や床の作りは実施設計の中で検討する。

 **ワークショップ終了後も検討を続ける体制をつくり、引き継いでいきたい。**


縁側モール

- ・路地状の空間の良さは理解できるが、ビルの中であるのでやや無理が感じられる。ちょっと狭苦しい。図書カウンターあたりの広がり感＝何も置かないオープンスペースが必要では？トップライトなどの自然採光（光と視線）の工夫も必要
- ・「もったいない本コーナー」周辺は段差＋スロープがあり、孤立した閉塞的な空間になっている。隣接するWCの形状を細長くして、このあたりを膨らませた方がよいのではないかな？

 **立体模型やCG、原寸など、もう少し空間が分かるような工夫をして検討を重ねたい。**

トイレ


- ・授乳室や支援コーナーは入口近くでよく分かる位置に。また閉じた部屋ではなく、できるだけ開放的にすること（カーテンなども）。
- ・大きな屋根の下の広々とした図書館イメージを妨げないよう、トイレはラウンドタイプで子ども達にも楽しいトイレのデザインが望ましい。

 **子どもが楽しく入れる、安全なトイレを実施設計段階で検討していく。**

全体の光・窓に関して


- ・西側の開口部をより大きくとって、光と景色を取り込んだらどうか？
- ・西側スリットは西日が強い時、エアコン代がいるのでは？
- ・事務室、トイレなどのコア的な部屋が林立して光を遮っている。平面的な工夫が必要
- ・本館唯一の開口部といってよい貴重な窓なので、前面透明ガラスにして光を採り入れ、植栽越しに園児が遊ぶ様子を眺められる方がよい。
- ・窓にはブラインド、ルーバーなどで光線、視線を制御する（上だけを開ける工夫でもよい）。

- ・保育園と図書館の関係を単なるリスク回避的な処理にせず、より積極的な両者の関係を築くべき（ハード＋ソフトの両面）。
- ・吹抜空間、ライトウェル^{※4}、トップライト、2階テラスなどの工夫により、建物内部を自然光で明るくできる工夫がほしい。
- ・上部のスリットだけで採光できるか心配
- ・吹抜が4カ所あるのは多すぎる。
- ・吹抜を有効活用出来る方法はないか。
- ・2階の「アトリエ（工芸）」を移動させて、ここに窓をとれば、西側の光と視線が2階のホール＋通路に入り、内外のつながりが強化される。「アトリエ3」の移動先は、子ども図書館あるいはカフェの吹抜内部の空中に張り出させる。あるいはアトリエ2とテラスとを加えた3つでやりくりする。
- ・全体的に自然光が少ない。特に縁側モールと2階の閉塞感はきついものがある。トップライトやハイサイドライトを多く採り入れて、空が見える工夫が欲しい。

 **北側の壁面のレイアウトも含めて、効果的な開口部を開けるよう、更に検討する。**

閲覧コーナー

- ・北側（保育所側）は光環境からしても心地よい空間であるので、内側に集約した閲覧コーナーを二分して、窓側にもいくつか閲覧コーナーを設けてはどうか（アルコーブ^{※5}も取り込んで）。閲覧場所を限定しない方針で。
- ・書架ごとに適度な大きさのベンチを設けることで、本の選択の際にも一時的に購読できる場を設けてはどうか。読みたい本の近くに小さな閲覧コーナーを（まちとしょテラスの例）。
- ・1階に机があると、宿題をする学生さんが占用してしまうので、ルールを明確にしては？
- ・光の眺望を生かして、窓側全面に長椅子、読書席などを設けてはどうか？
- ・図書館にカウンター席が欲しい。
- ・子ども図書館のスペースを十分にとって欲しい。
- ・閲覧室と2階学習コーナーをつなげるストリップ階段を設け、上下階の空間を立体的に豊かに活用出来ないか（公民館と図書館との連携）。
- ・階段の位置と場所がわかりにくい。閲覧室内部の吹抜に廻り階段を設置する。図書館内の1階、2階の移動ができるようにする。

 **図書の閲覧コーナーは、リハーサルルームや階段等と合わせて再検討**

※4 ライトウェル…マンションの採光のために設けられた光庭のこと。ライトコートとも言う。

※5 アルコーブ…洋式建築物で、部屋・廊下・ホールなどの壁面の一部をくぼませて造った小部屋。寝室・書斎・書庫に使われる。

事務室

- ・事務室が少しせまいように思う。

安田：ホワイエは1.8mぐらい床から上がっているの
で、その下を利用して作業スペースを作ることも考え
られる。



事務スペースを確保する方法を検討する。

図書の貸し出し

- ・図書館の本は建物全体で持ち出せないか。返却は
入口、出口で。

安田：BDSの位置をどこにするか。最初は出口付近まで
BDSを移動して、その中は自由に本を持ち歩ける案も出
していたが運用が大変なので、今はもう少し内側に寄
せている。これから議論の余地はあるが、常識的な範
囲で考えると、この辺りかなという感覚はある。



BDSの位置をどこにするか、今後議論する。

運営について

- ・ウェブ環境、印刷、製作、ワークステーションな
どの充実が望まれる。
- ・聴覚障がい、視覚障がい者に対する図書の提供コ
ーナーを設けること。
- ・紙媒体にとどまらず、映像資料の提供を。
- ・ピアノは必要なし。安いピアノが良い。
- ・リハーサルルームは有料に。

安田：最近の公共施設では、印刷や製本のできるスペ
ースを作っている例がある。そういうニーズが高いの
であれば、設置していく方向で検討したい。障がい者
のための対面朗読室や、CDやDVDが借りられて、
かつ中で視聴できるスペースも考えていく必要がある。



今後、検討していく課題の一つである。

楽屋やスタジオ等

- ・楽屋、スタジオは1つにすること。
- ・公民館としては楽屋、スタジオはいらない。
- ・演芸発表後の懇親会ができる場所を確保して欲し
い。
- ・市民ボランティアの控え室がほしい。

安田：スタジオやリハーサルルームなどは、夜遅くま
で開けておくニーズが出てくると思うので、部分的に
限定して開館できるように考えている。



夜間の利用の仕方を検討する。

図書カウンター

- ・子ども図書館と大人の図書館のかし出しカウンタ
ーをべつにしてほしい。

安田：子ども用のカウンターをこども図書館側に設置
している。ただ、あまり人のいない時はメインのカウ
ンターだけにするなど、運営の仕方はあると思う。



運営の仕方の検討が必要

喫煙の考え方

- ・喫煙コーナーを作ってルールある分煙を。
- ・北島三郎が楽屋でタバコを吸いたいと言ったら、
どう対応しますか？

安田：最近の新しい公共施設では、全館禁煙が多い。
敷地内の外部に喫煙コーナーを設けるところもあるが、
敷地内禁煙という施設もある。内部に喫煙室を作ると
いう考え方もあるが、最近は少なくなってきている。



喫煙のルールについて検討する。

テラス

- ・テラスには一般利用者が行けるように、廊下から
直接出入りできるようにする。
- ・1階閲覧室からテラスが見えるようにする。テラ
ス→1階閲覧室への貴重な光と視線
- ・テラスへの通路が必要

安田：調理した後、テラスで食べることを考えて配置
にしている。いろいろな意見があると思うので、皆さ
んの意見を聞いて何パターンか作りたい。



何パターンか作り、再検討する。

多目的スペース

- ・多目的スペースを仕切れるように。3区画ぐら
いに。
- ・多目的スペースが狭い。

安田：現況よりは少し小さいが、バレーボールが
できる広さで大きさを決めている。今回の計画は
図書館を残しながら作ることが前提になるので、大
きくするには下に広げていくことになるので、無
限大に大きくすることはできない。本当に足りな
いということであれば微調整は可能。



次回、レイアウト図を提案する。

アトリエ1

- ・せまい。

安田：100人入れる部屋として計画している。



全体を考えて調整する。

調理室

- ・調理室はキッチンスタジオというイメージで。理科実験室にはしない。
- ・先生用のデスクが必要（実地説明等）。調理室を24名用から30名くらいに広げて欲しい。
- ・アトリエの調理室は多目的スペースの柔軟な活用（パーティ、宴会など）を考慮して、東側の多目的スペースの位置に移動してはどうか（パントリー※6的な扱いも可能になる。）。「健康」をテーマにした生活習慣病と運動と食をコンセプトにした活用も出来る。

参加者-3：公民館も全部、固定式の机になっているが、キッチンスタジオ的に、調理したものを家族で食事をするようにした方が、テラスもあるので有効に使えるのではないかと。ここに描いてあるのはどこにでもあるような、理科実験室になってしまうような感じがする。

参加者-4：私はメンズクッキング教室に参加している。会員が23名程度だが、今後は高齢者が増えるので、30名くらいの部屋が欲しい。1グループ4～5名でやっているの、シンクと調理台、食事スペースが一緒になっている方がよい。

安田：壁際にシンクとコンロがあり、グループ用のゾーニングができていれば使えると思う。5人で使えるゾーンが6つで30名くらいができるようにしたい。



シンクなどは壁際に寄せ、真ん中はテーブルを置いて、調理室としても別な使い方もできるレイアウトを次回提案したい。多目的スペースと隣接して配置することも検討

アトリエ3,4

- ・展示目的と学習室（差別化）
- ・絵画、彫刻、写真などのアート系の活動に必要な水回りの充実がほしい。

参加者-5：例えば書道や絵画利用の時、教室で教わって書いたものを展示して批評するために部屋が分かれていた方がよいのではないかと。大きな部屋を仕切るのでもよい。

安田：作業したものを最後に講評するような仕掛けは、備品で対応可能だと思う。アトリエという名前を付けているが、水回りのある部屋とない部屋、音が出せる部屋、調理する部屋を考えている。



それぞれに必要な設備、備品を用意する。

学習コーナーと図書館の間仕切り

- ・2階の学習コーナーと1階の閲覧室との間にはガラスの間仕切りがあるが、これが良いのだろうか。

安田：1,500㎡で防火区画が必要になるので、図書館ゾーンで区画をしたい。



仕切りは必要だが、仕様は検討する。

駐車場

- ・駐車場が少ない。2層から3or4層にできないか？

庁舎建設課：当初は3階建て、4層利用で215台程度の駐車台数を確保する計画をしていた。試算では建設費に3億5千万円程度、年間の維持管理費も数千円かかるので、考えを改めろというご意見をタウンミーティング等でいただいた。現計画では2層利用とし、敷地の高低差を利用してエレベーターは作らず、郵便局の土地も買収できれば、173台の駐車スペースを確保することができる。また市役所の南側に69台の駐車場があり、市役所敷地内にも23台程度ある。どうしても足りない分については知恵を絞って、この近辺で確保していくことも考えている。



駐車場については今後、検討していく。

その他

- ・防災倉庫は2階（津波高さが4mのため）
- ・文化財展示室の計画がない。
- ・公民館事務室を2階に。
- ・公民館OBが館長になる運営は最悪
- ・合併は痛みを伴う。郡中の人は少し我慢する（郡中の人間です。）。
- ・デザインに開放感があつた方がよいような…。
- ・名称の統一化を。1.アトリエ、2.スタジオ、3.～ルームから〇〇会議室等の統一名称にしてはどうか？
- ・公民館としても利用する人が一部負担するのは当然
- ・文化ホールは有料、公民館は免除、図書館は無料
- ・公民館の固有のスペース
- ・用途が多目的化すると道具の移動が問題になる（特に高齢者の会）。



設計で検討できることは検討し、運営については管理運営検討委員会へ引き継ぐ。

※6 パントリー…キッチン的一部分にあるいはキッチンに隣接して設けられる収納スペース

「使い方アンケート」に答えていただきました

最後に、施設の「使い方アンケート」に各自で回答していただきました。

1：『伊予カフェ』は市民運営を実現する可能性を持った場です。

あなたが考える理想的な伊予カフェの運営アイデアを提案して下さい。

まちの人の力で実現する

- 自販機コーナーにならないように、おばあさんグループに委託すれば。
- 「まちづくり郡中」に経営を依頼してはどうか？商工会の若手に活躍してもらえばよいと思う。
- ボランティアでティーとかコーヒーとかスムージーなどを作るのが好きな女性に有料でよいので店をあけてもらう。
- ありふれたカフェではダメだと思う。個性のある、魅力のある施設でなければと思う。
- 厨房はいるのではないだろうか。アトリエ（調理）、テラススペースを伊予カフェとして運営して行ったらどうでしょうか。例えば運営日を決めて、月水金日が伊予カフェ、他を教室開放日として運営はどうでしょうか。
- 市内（双海、中山etc）の地域おこしグループが週替わりで運営していく。毎日が難しければ週2日位でも。例えば第1週は双海のじゃこ天、第2週は中山のしし肉バーグといったように。
- 地域別、日替わりカフェ。地域おこし協力隊など。伊予市内の学校（小・中・高）の調理実習発表。外国人の方の協力。異国カフェ（月に何回か、毎日ではない。）
- 障がい者の方々の授産施設や、NPOによる活用が可能であれば一番良いが、市が直営するのはむずかしいかも??カフェで読書会やジャズライブができるとすてきですね。
- 伊予市米湊口ダンのおいしいコーヒーが飲みたい。できれば伊予市の有志（飲食）の方にコーヒー、紅茶、フルーツジュース、軽食などに入ってもらいたい。早いうちに入ってもらえる人を募集する。気まぐれカフェという形で、月曜日から日曜日まで、カフェをやりたい人に日替わりで入ってもらうのもおもしろいのでは。
- 伊予農業高校の学生たちと連携して、地域の食材を生かした創作メニューを出せるようにする。運営については民間業者でも日常経営は難しい（赤字になる、失敗例あり。）。カフェのある市民活動スペースにすることもありではないか？NPOで運営する。水回りは必要
- カフェからイメージするものは、市民が気軽に立ち寄れる広場であると考えている。そのためにも開放された明るいカフェであって欲しい。市民運営でボランティア、民間のアイデアを生かせ。地域おこし協力隊の活用。お菓子屋さん委託するか検討

民間や行政の力を借りる

- 行政でカフェを経営する、または助成金を出す。
- スタバの様なコーヒーショップ（チェーン店）にお願いをして、カフェの運営をお任せを…。
- 民営のスイーツカフェ的な場が良い。
- 稼働率の問題になるとは思いますが、コスト的にもベストな形で運営して頂けると助かります。もし難しいようなら、コンビニにあるカフェを委託してはいかがでしょうか。
- コンビニ&カフェ。k'sカフェを（四国発とのこと。）!!障がい者の方々の雇用も考えて。

セルフサービス、自販機コーナーで良い

- セルフサービスみたいにしたらいと思う。
- セルフカフェでいいと思う。
- 調理コーナーをつくっておき、各種団体の食のイベントないしはバザー会場として活用すればよい。イベントのない月は自販機コーナーとして活用
- 自販機コーナーになっても良いのでは？但し、テーブル、イスは必要だが…。
- 伊予カフェはまず採算性がとれないのが火を見るより明らか。コンビニで採用している自動販売機のような自由に飲める方法がベター（コインを入れて自由に飲む。）
- カフェが文化施設に不可欠とは思わない。ゆっくりとしたロビーがあればよいのではないか。お茶などは自動販売でよい。

カフェは必要ないと思う

- 近くに「コンビニ」が出来ると聞いているので、カフェは必要性はないのではないのでしょうか？伊予市にはかつて市民会館内にレストランが作られていたが、数年でつぶれた経緯がある。
- カフェは必要なし。赤字となり1～2年で止めることになる。費用対効果を考えると、利用効率の低い施設となる。

その他

- 広すぎ。種類を限定する（できるだけ少なくする。）。運営面も同時に考えること。ともすれば自販機コーナーになる恐れあり。
- 都会風のカフェではなく、だれでも気軽に立ち寄れるものにして欲しい（普段着で立ち寄れる店）。
- 伊予弁などの〇〇弁を話す人やコンピュータを入れたらどうか。自分達が考えたレシピなども入れてもらえたらうれしい。

2：『多目的スペース』は、現状でもとても稼働率の高い場となっていますが、特定の団体の利用に限られているという意見もあります。使い方の幅を広げる方法を提案してください。

利用のルールを検討する

- 予約の方法を考えれば、公平さを保つことができる。市の行事優先は当然だが、市民団体は同日利用要請の場合、抽選等と考えれば良い（数ヶ月前の検討にして。）。
- 3つの機能を一つにするコンセプトで事務所も一体化するのであれば、特定の団体にならないのではないだろうか。
- 例えば、3ヶ月前からの予約で特定団体が次の予約を入れるというケースを想定すると、館長あるいは運営委員会の判断で、別の企画の予約を入れるルールをつくっておくべきだ。
- 利用団体の利用制限をかける。競合した場合は前回の利用から遠い方の団体を優先する。
- 多目的スペースも広いですから、市民が有効的に使用できる方法を考えていただきたいです。予約制で利用可能等
- 1年間分の予約を団体が取ってしまうのをやめ、何ヶ月かごとの予約にする。
- 予約のスケジュールを一覧表にして公開せよ。
- 現在の大会議室はスポーツ団体が既得権的に利用しているイメージがあります。予約のルールを考える必要がある。
- 調整会議を開き、不公平のないようにすべきだ。
- 市民誰にでも平等に開かれている場でなければならない。年度の初め（或いは終わり）に市民（組織、団体）から利用の希望と計画を出してもらい、偏らぬように調整する（場をいくつかに分けたり、時間設定をしたりすればよい。）。
- 特定者以外にも利用できるよう、申し込みに方法を。
- 特定の団体の利用で他の利用が全くできないのはダメ!! なにか良い方法はないか?!
- 活動中の各団体からの意見を広く求める。市内の小・中・高の各学校の先生の意見も求める。
- イベント（行事）以外は2～3時間が多い。現在は午前、午後の割り振りですが、内容により細かく配分することはできないか。

他施設で行うことも考える

- 年間ドリーム事業にあるように、多様な活動ができるように現状の体育館的な利用は見直す必要があるのでは。美術展、パフォーマンス、ワークショップ、パーティ、ウェディングショーなど。特に飲食ができるようにすることも考えてほしい。健康体操的な軽体操にしぼって、バレーボール、卓球は別の施設にする方がいい。
- スポーツは「しおさい」で、芸能は「公民館」でする方向でいいか？

場所や時間をシェアしてはどうか

- 取りはずしのできるパーティションを作ってはどうかでしょうか（より多目的に）。
- 3部屋ぐらいに間仕切りできるスペースにすべきだと思う。少しでも利用率を上げる意味で。
- 2団体でシェアリング（時間、スペース）してはどうか。

その他

- この問題は「しおさい」も同様で、早い者勝ちの順番取りしかない。
- 個人的に使いたいときに団体がいると使えなくなる。そこは気持ちだけでもがんばっていただけると…。
- 多目的スペースは大集会所とし、郡中地区公民館として飲食が出来るようにすること。バレー、バスケットなどが利用できるようにすること。
- 多目的スペース近くにキッチンスタジオ
- 市民の絆を育成するにはスポーツの要素は大切。プロ野球選手も伊予市から出ている。その人を活用しての教室を設ける。旧伊予市、中山、上灘、下灘全体の市民スポーツ大会を開くべき。もう合併10年。市民の交流、親睦が必要。市民の輪（和）

Q 昨年、新庁舎のワークショップをやり、その中で、「ワークショップを継続して、市民の関わる庁舎になる形にしたい」という意見があったが、その後は音沙汰がない。今回の計画でも、続けていくときには「あんたら勝手にやってな。」ということなのか、「我々は事務局としてちゃんとサポートします。」という立場なのか。箱を造ったら終わりということではいけないのではないか。市庁舎も、市民と行政の協働という大きな理念の下で運営される前提で考えていただきたい。



質疑応答「今後の市民参加について」



A 市役所も、市民の皆さんに積極的に参加してもらいたい、事業も一緒にやってもらいたいという考えで、多目的スペースや市民活動スペース、会議室などを配置している。出来てしまえばそれでおしまいという考えを持っているのかという厳しいご質問ですが、私らも中途半端な気持ちでやっているわけではなく一所懸命、職務遂行したいと思っている。

3 : 施設運営に市民参加を取り入れていくためのアイデアを幅広く提案して下さい。

市民が参加できる仕組みをつくる

- 資格を要しないものはボランティアを広く募集すると共に、シルバー人材を有効利用したらどうか？
- 公民館主事が昔は地域の若者達と親交があった。これから昔の青年団活動をしていた人が、人材を育てていけるようなシステムを作る。それが施設運営につながる。
- 伊予市にお住まいの方なら男女問わず、65才くらい迄の方に1日4時間程度（2年間くらいで交代する。）、図書館やホールのお掃除…etc. パート扱いですので気軽に働いて頂け、目配り、気配りも出来るのでは…と。
- ワークショップ終了後に市民主体の運営委員会を設置する（事務局は市が担当）。館長は民間から採用、開館後も運営委員会を機能させる。市民の有償ボランティアを活用する。
- 施設を造ってからもワークショップのようなかたちの会議をしていく。
- 施設の完成後も、こうして市民が自由に参加できる運営ワークショップを設けて、自由な意見を求めるてはどうでしょうか？
- NPOの立ち上げ＝団塊の世代にがんばっていただく!!市民サポーター制度の導入＝各エリアでリーダー育成。ホール利用コンテスト制度＝(例)10万円の補助金でアイデア募集。20～30代の若い女性＝女性の力を利用、雇用
- ボランティア団体（NPO法人）を結成して、運営に参加してもらいたい。市の職員は少数の核となり、実働はボランティア(?)が望ましい。
- 一般より募集（推薦可）も考えてほしい。説明を十分に。ただ諸団体の推薦（長）を委員にするのは絶対にダメ。
- 市民参加の公民館活動は大いに賛成。総合管理事務所は賛成
- 施設利用可能なボランティア団体など、意見を聞いてもらえるような会を開いてもらいたい。
- 年齢や男女もバランスをとって募集するのがよい。ボランティアと職員との緊密な連携がないと、施設は活気ある活動ができない。意欲ある人、工夫して創造的な活動を生み出せる人を全市民から募集してほしい。
- 市民参加には①事業企画への参加、②文化活動への参加に加えて、③運営への参加はホールの舞台照明、市民ディレクターとして参加すること。図書館のサポート、読み聞かせ隊を組織すること。
- ④広報、宣伝などへの参加、協力、⑤サポートの会、友の会などを組織する。
- ボランティアの活用。今日の討議でも出たが、職員OB館長は絶対にしてはいけない。WSを継続して運営方法を長く続ける。市民のアイデアを活用せよ。
- 館長は国、県、市、教育等の職員OBは絶対に採用しない。そして運営の権限を館長に与え、行政は口出ししない（ただし、市民による採点を1年毎に行う。）。
- 市、活動団体からの意見を広く求める。事例説明の一元管理が良いが、運営管理側と利用者側の意見の調整（微調整が良い。）が必要と思う。予算が限られているので、市民もある程度納得するのではないかと。高齢者が益々多くなるので、分かり易い、使い易い運営方法を!!
- 大人たちだけでなく、おばけ屋敷などでは子どもたちにもしかけなどを手伝ってもらえばいいと思います。

市民にアピールする

- 市民参加を取り入れる提案に対しての説明を、市民に広くアピールし、その説明会をもつべきだ。
- 今度のパネル展示等、広くオープンに進めて行けばよいのでは。

その他

- 今回のイヨ館長の話は良い。事務所にボランティアの席（机）を設けて欲しい。
- 実績を積んでいくしかよい案はない。オープニングでは市の支援で何とかできるが、通常の場合、かなり難しいことが予想される。
- 施設は公民館、図書館、文化ホールに分けて、使用料金体系が異なるから施設は最小限にすること。



4：その他

❁ 計画に対する要望

- この施設内に伊予郵便局のスペース（貯金、保険）を。入口近くに総合案内スペースが必要
- 駐車場については、市役所近くの駐車場も無料で使えるようにすれば、土日に来られるようになるのではないかと。
- 事務所は警備上も今の中心部分が良い。カウンターに人がいても、からんだり子どもや弱者にからむようなときに助けられない。
- 情報コーナー、視聴覚コーナー（パソコンを何台か、タブレットコーナーなどなど）。DVD、CDを聴いたり視たりできるコーナーを!!
- 伊予市関連の本等を置いて、買える場所があれば良いと思う。
- 子ども図書館について、子育て中のお母さんの意見や、読み聞かせなどの各ボランティアの意見を聞き、まとめた意見を設計、運営に活かしてもらえそうな会をもってもらえるとありがたい(机、イス、フローアなどインテリアについて)。12時～1時の昼食時間にお弁当が食べられる場所がほしい。2wayルーム??美術（絵）などのワークショップをする時、水道、洗い場などが必要。手を洗ったり。
- 毎回、改善案が提案されるが、いずれも進歩はない。公民館機能も面積だけの比較でよしとしているが、会議等の利用がダブった場合、部屋数が足りない。機能性とは何か。集中型と数の問題ではないでしょうか。現在の提案では分散型で数も足りない。中央公民館の実績を参考とすべきではないでしょうか。何故に吹抜部分を、スペースとして活用できないのか。
- 営利、宗教、政治団体等の規制は絶対必要です!! 私達は建築についてはまったくの素人です。そろそろ全体的な仮設計をして頂き、それについての調整意見を求めたらどうか? 大方の人はそんなに大幅な異なった意見は出ないと思う。

❁ 広くPRする必要があるのでは

- 文化ホールについて、各団体代表者（伊予市以外にも）に利用を呼びかける。
- その場に来ただけで楽しい気持ちになる仕掛けのある施設を。また外に向かっての発信を、様々な形で行い、市民の広い要望や関心にこたえ、努力することが大事と思う。

❁ 運営について

- 社会教育施設の運営は容易ではない。金銭面を重視しないことが大切である。ボランティアは無償ではなく、有償で就業してもらえばいかが?
- 運営について、一元的に行うためには館長は1人でよい。職員のOBなどでなく、公募すべき。説明で「文化ホール」が抜けていたのでは。「直営方式」の説明があったが、行政職員だけでは柔軟な運営はできない。新しい運営組織を市民、行政、専門家、民間、NPOなどによってつくりあげ、「指定管理」方式を構築すべき。「管理運営基本計画」で検討する必要あり。
- 三回忌等も利用できるようにしてはどうか。

❁ その他

- いろいろ考えると難しい。
- 戦後、まもない生まれの人間には少し、ぜいたくな施設のように思える。
- 図書館、文化ホールの建設には余りにも制約が多い。伊予市老人福祉センターが伊予農付近に移設される。尾崎の保健センターも完成。これらの運営するのにセンター長がいるし、集約すべきである。保育園をどうするかを含めて検討すべきであった。将来ビジョンを語って欲しい。行き当たりバッタリの行政では良いものが出来ない。



質疑応答「スケジュールについて」

Q

合併特例債を使うために見直しをしたとなっているが、ワークショップの予定の見直しはしていないのか。今は工事着工が2016年1月、公民館解体が2015年8月になっている。費用がないので合併特例債を申請し、平成32年度までの期間延長に伴う事業の見直しを行ったとなっているがどうなっているのか。

A

当初、図書館、文化ホール建設の財源は合併特例債とせず、過疎対策事業債を活用するという計画でいた。計画を進めている中で国、県から過疎債の財源は伊予市の文化ホールの財源に充てることは難しいという話があった。過疎債で対応できないのであれば合併特例債に変更するしかなく、新市建設計画の変更をした。合併特例債の期限は、東北の震災で当初平成27年だったのが平成32年まで延びている状況である。今の予定通りやっていくつもりだが、期限だけは平成32年までとっておくこととしている。しかしここに書いてあるスケジュールを目指して実施したいと考えている。

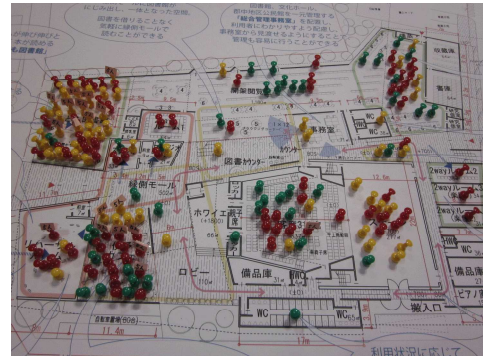
文化祭の報告



10月25日(土)~27(月)に行われた、いよし市民総合文化祭&ふるさとフェスティバルにおいて、計画中のプランについて、来場された市民の皆様にご意見をお聞きしました。

1. 行ってみたい場所、興味のある場所を探して画紙をさしてください。

1階	子ども※1	大人(女)	大人(男)	計
こども図書館	65	20	1	86
開架閲覧室(正面)	1	5	8	14
開架閲覧室(奥)	4	8	8	20
2wayルーム -1	2			2
スタジオ	2	3	2	7
リハーサル室	2	9		11
伊予カフェ	13	34	9	56
縁側モール	2		2	4
もったいないコーナー	2	1	1	4
客席	2	14	9	25
ステージ	8	6	1	15
事務室	2			2
2wayルーム -2		1		1
2wayルーム -3(楽屋)		1		1
2wayルーム -4(楽屋)		1		1
トイレ(ホール側)			1	1



2階	子ども	大人(女)	大人(男)	計
テラス	4	1		5
アトリエ1(会議室)		1		1
アトリエ2(調理)	2	2		4
アトリエ3(工芸)	4	2	1	7
アトリエ4		1		1
学習コーナー	6	2	2	10
多目的スペース	3	4	1	8
和室	4			4
フリースペース※2	2	2		4



※1 子ども…中学生以下
※2 フリースペース…アトリエ2と3の間のスペース

2. 計画案について、ご意見をお聞かせください。

プランに納得!

(図書館)

- ・図書館にマンガをおいてほしい。
- ・図書館にGEMUをSURUBASYOをTUKUって(ゲームをする場所をつくって)ほしい。
- ・図書館にTUTAYAができてほしい。
- ・図書館にdagasiya(駄菓子屋)をおいてほしい。
- ・図書館で子どもに読み聞かせができるスペースがほしいです。カフェもたのしみ。
- ・本がいっぱいがいい!!
- ・理科や偉人の法則の本など。
- ・いろんなえほん
- ・子どものへやができてとてもうれしい。
- ・本をたくさんおいてほしい。
- ・本をたのしくよみたい。
- ・子どもが本を選んだり読んだり、会話を楽しめそうでたのしみです!
- ・トムとジェリーのDVDをおいてほしい!!

- ・早くできてほしい!子どもにやさしい図書館。がんばって!!
- ・としょかん、いつてみたい。

(できるのが楽しみ)

- ・子どもがはしゃげる所があり、カフェもついててありがたかつたのしみ~♪
- ・楽しみ~(4人)
- ・一日でも早く作って下さい。楽しみです。
- ・私の家の近くなのでぜったい行きます!!ちょー楽しみです。
- ・早くいつてみたいな~。

(その他)

- ・広々できるスペース
- ・ステージでダンスをしたい。
- ・手編み、小物づくり等。絵画教室
- ・びあのをひけるようにしたい。

プランに一言

(いよカフェ)

- ・市営のバスを出してほしい!!カフェで親はお茶、子どもは図書館、様子が見れるといいな。
- ・子どもが遊ぶのを見ながらコーヒー、ケーキ、素敵なcafeが欲しいです。
- ・カフェはごうかにしてほしい!!楽しみ。
- ・いよカフェから子ども図書館が見えるといいナ。
- ・いっぱいじゅうすをのみたい。

(図書館)

- ・知っている人ばかりなので、顔が見えない、区切られたスペースがあるといい。
- ・読書机にはシキリ付きの、1人で静かに読める所もね。とりはずしも可
- ・図書館の棚の位置と、本を読む位置を逆にしてはどうか(音の問題)。図書館は静かな場所である。
- ・司書をできるだけ多く!!
- ・今の図書館はとても暗くて字が見えないので、とりあえず明るくして欲しい!!
- ・視聴覚室が欲しい。DVDを見れる部屋

(その他)

- ・トイレについて、小さい子どもが一人でも使えるようにして欲しい。妊娠中のお母さんが子どもを抱っこして手を洗わせたりは大変。
- ・スタインウェイ、おいて下さい。
- ・ピアノがひけるようになりたい。
- ・有名な人の舞台を2ヶ月に1度でもいいから見てみたい。
- ・各活動団体のロッカールームを設置してほしい。
- ・研修室は区切りが必要。2Fにもっとふやしてほしいな。
- ・駐車場が広くない…。なんとか…。
- ・災害時の安全な避難場所にしてほしい。
- ・早く作って。

たくさんのご意見を
皆さんに出して
いただきました!



3. 図書館に置きたい私のおすすめ本

○ジブリの本

⇒読みたいから

○マチルダは小さな大天才

⇒マチルダの仕返しがおもしろい

○ひみつシリーズの本(2人)

⇒いろんなひみつの本がよみたい

○塔の上のラブンツェル(2人)

⇒産まれてすぐさらわれた女の子が、1日も家から出たことがないので、でたいという望みをかなえよう…。

○ポケネコ

⇒不思議なペットショップ「ノルン」。そこは動物がベストパートナーを選ぶ!?

○マジカル少女レイナ

⇒全10かん、まほうつかいでくるよ～。

○蒼穹の昴(浅田次郎著)

⇒すごくおすすめです。

○ファンタジスタ

⇒おもしろいから

○DEMONATA(デモナータ)

⇒ダレン・シャン氏の本

○おねがいフェアリー

⇒ぜんぶの本!!

○私のかわいいおへ作り

⇒いろいろなカワイイかぐの作り方やもくひょうにしたいおへやなど、いろいろあります。

○犬と私の10の約束

⇒おもしろいし、すこしかなしいところがある。

○ワールドトリガー

⇒SFのアクションがかっこいいから!主人公の行動がおもしろいから。

○ロード・アート・オンライン

⇒ゲームの世界のお話です。

○リトルジニー

⇒ぜんぶの本!!

○Another(アナザー)

⇒綾辻行人さんの作品の中で、いちばんだと思います!

○ヒミツの子ねこ

⇒ナゾの子ねこが現れ、そこで問題などを解決していく話

○サバイバル

⇒いろんなしゅるいがあり、科学てきな本でドキ、はらはら!

○七つのたいざい

⇒たびをしながらなかまをさがすのがおもしろい。

○プリンセスマジックティア

⇒5かんがほしい～。

○こわい本

○黒子のバスケ(小説)

○ようかいウォッチ

○こくまのクークのものがたり

